

子供たちの豊かな心を育むために

都教育委員会では、思いやりの心や規範意識、生命を尊重し自然を愛する態度など、子供たちの豊かな心を育むために、都独自の道徳教育教材集を、都内全ての公立小・中学校等の児童・生徒に配布しています。また、都教育委員会ホームページにも、学校や家庭で活用することのできる読み物教材を掲載しています。

休校が続いている中、子供たちがじっくりと自分自身を見つめたり、家族で様々なテーマについて話し合ったりするための教材として、東京都道徳教育教材を御活用ください。

都教育委員会ホームページ掲載の道徳教材

	教材名	教材で扱っているテーマ	
小学校第1・第2学年用	ぞうさんの おはな	個性の伸長	
	パオちゃん	感謝	
	どんな いいこと あるのかな	礼儀	
	さるくんは だめ	公正、公平、社会正義	
	ずるいな、ずるいな		
	みみちゃんの 学校	よりよい学校生活、集団生活の充実	
	□□□ 学校		
	絵手紙と おじいちゃん	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	
	ぞうの インディア	国際理解、国際親善	
じゃんけんしよう			
小学校第3・第4学年用	もうーまいのカード	親切、思いやり	
	一言で表すと?	礼儀	
	伝えたいこと	相互理解、寛容	
	ぼくらのビー玉コースター		
	山びこ村の二人	公正、公平、社会正義	
	二まいの絵		
	一平とエミリーとアジェイ	国際理解、国際親善	
	タガメの記おく	自然愛護	
	ロジエル	善悪の判断、自律、自由と責任	
ながら	節度、節制		
小学校第5・第6学年用	厳しい道を選ぶ 一大村智博士ー	希望と勇気、努力と強い意志	
	借りたはずの自転車	規則の尊重	
	ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン		
	「BEEMS」結成!	公正、公平、社会正義	
	真っすぐな少年は大リーグに		
	ヒマラヤを描く	家族愛、家庭生活の充実	
	バールマンさんのけっ作 ～オー・ヘンリー『最後の葉』より～	よりよく生きる喜び	
	中学校第1・第2・第3学年用	ある朝のできごと	節度、節制
		是 人生第一の大事なり 一養生訓一	
ポッチャ		向上心、個性の伸長	
厳しい道を選ぶ 一大村智博士ー		希望と勇気、克己と強い意志	
思いやりとは……		思いやり、感謝	
またやろう		礼儀	
日本人と礼儀			
Manners make the man.		友情、信頼	
詩 二編			
友情について考える		遵法精神、公德心	
ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン			
バラのアーチの下で		公正、公平、社会正義	
人間の尊厳を守るために			
炊きたてご飯のお弁当		家族愛、家庭生活の充実	
「一員」というプライド		よりよい学校生活、集団生活の充実	
二つの町		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	
「日本らしさ」を探そう		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	
あなたが考える日本のすばらしさ		国際理解、国際貢献	
私は「おもてなし親善大使」			
生まれてきてくれて、ありがとう 一助産師からのメッセージ一		生命の尊さ	
大きなプラタナスの木	自然愛護		
ブナの森にて			
水の惑星	感動、畏敬の念		
峠を越えて			

教材のダウンロード

東京都教育委員会ホームページ

学校教育

教育内容 ●道徳教育

2 指導資料・報告書等

「特別の教科 道徳」
移行措置対応
東京都道徳教育教材集

Click!!

※教材は PDF 形式で掲載しています。印刷したりコンピュータに保存したりしてから、御活用ください。

活用のヒント

教材には、それぞれじっくり考えたり理解を深めたりしてほしいテーマが設定されています。

教材を読んで、どのようなことを考えたり感じたりしたかをノートに記入したり、大人と子供とで話し合ったりしてみましょう。

また、考えたり感じたりしたことを基に、日常生活を振り返ったり、これからの生活の仕方を見つめたりすることも大切です。



さるくんは だめ

「もちろん。いっしょに作りましょう。」
 また、しばらくすると、おこりんぼうのさるくんがやってきました。
 「りすさんと、小鳥さんと、きつねくん、何をしていますか？」
 「木のみをさがしているの。たくさんあつめて、おいしい木のみケーキを作るのよ。」
 「いいなあ。ぼくも入れて。ぼくは、おいしいケーキの作り方を知っていますよ。」
 りすさんと、小鳥さんと、きつねくんは、目を合わせて、少し考えて、しまいました。
 「さるくん、また、こんど、いっしょに木のみケーキを作りますよ。今日は、ごめんね。」
 そう、言って、ことわりました。さるくんの顔は、まっかになり、帰って、いきました。



小1-2-C・公正、公平、社会正義

さるくんは だめ

そよ風の森で、りすさんが、木のみをさがしています。そこへ、なかよしの小鳥さんがやってきました。
 「りすさん、何をしていますか？」
 「木のみをさがしているの。たくさんあつめて、おいしい木のみケーキを作るのよ。」
 「いいなあ。わたしも入れて。わたしは、上の方の木のみもとれるのよ。」
 「もちろん。いっしょに作りましょう。」
 しばらくすると、いつもおもしろいきつねくんがやってきました。
 「りすさんと、小鳥さん、何をしていますか？」
 「木のみをさがしているの。たくさんあつめて、おいしい木のみケーキを作るのよ。」
 「いいなあ。ぼくも入れて。ぼくは、木のみをさがするのが上手なんだよ。」

この時、みんなはどんなことを考えていたのかな？

さるくんは だめ

この時、みんなはどんな気持ちだったのかな？
それはなぜかな？



さるくんは だめ

「しょうがないよね。」
 「しょうがないよね。」
 りすさんと、小鳥さんと、きつねくんは、また、木のみをさがしはじめました。でも、なぜか、みんなは、しんどくなって、しまいました。
 どのくらい時間がたつたでしょうか。りすさんが、ぼつりと、言いました。
 「やっぱり、わたし、さるくんを、よんで、こようかな？」
 小鳥さんと、きつねくんも、しずかにうなずきました。
 みんなで、さるくんを、よびに、いきました。森に帰って、くると、さるくんも、いっしょに、なって、木のみを、あつめました。今までに見たことも、ないくらい、たくさん、木のみが、あつまりました。
 そして、さるくんは、作り方を、教えて、もらいながら、みんな、ケーキの、きじを作りました。かまどに、入れて、しばらくすると、おいしそうな、においが、そよ風の森、いっばいに、広がって、いきました。

自分の好き嫌いとらわれず、誰に対しても同じように接することのよさについて、自分の生活を振り返りながら考えたり感じたりしてほしい教材です。

東京都道徳教育教材集（冊子版）

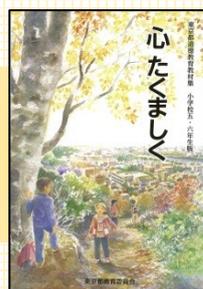
都教育委員会が、都内全ての公立小・中学校等の児童・生徒に配布している教材集です。
令和元年度から小学校版が、令和2年度から中学校版が、それぞれ「特別の教科 道徳」に準拠した内容に改訂されています。



小学校1・2年生版
「心あかるく」



小学校3・4年生版
「心しなやかに」



小学校5・6年生版
「心たくましく」



中学校版
「心みつめて」

第一章 先人のことばに学ぶ

人が何を志し、何を成すか、は、その志すこと、成すこと、に依る。志すこと、成すこと、は、その志すこと、成すこと、に依る。志すこと、成すこと、は、その志すこと、成すこと、に依る。

成せば成る
成さねば成らぬ
何事も
成らぬは人の
成さぬなりけり
上杉 鷹山

第一章には、様々な先人たちの言葉を掲載しています。
一つ一つの言葉は、「命を大切にすること」、「思いやりの心をもつこと」、「理想を目指して生きること」など、多くのことを教えてくれます。

改訂版では、子供たちが言葉に触れ、自ら考えたり、家庭で保護者と一緒に考えたりできるよう、言葉に解説を付けました。

自分を支えてくれたり励ましてくれたりする言葉を見つけよう。

第二章 さまざま生き方に学ぶ

第二章には、自分自身のよさを伸ばしていくこと、人や社会のために力を尽くすこと、かけがえのない生命を尊重することなど、よりよく生きるためのヒントが含まれている読み物教材を掲載しています。

これまでは伝記的な教材中心でしたが、改訂版では、多彩な教材を掲載し、より学びが広がるようにしました。

教材を読んで考えたことや感じたことを、ノートにまとめたり、家族で話し合ったりしてみましょう。

活用のヒント

子供たちと大人とでは、教材を読んで考えたり感じたりすることも異なります。その「違い」から、互いに気付いたり発見したりすることが大切です。

まずは、教材と一緒に読んでみましょう。

みんなのために
— フローレンス・ナイチンゲールのものがたり —

日曜日は、びょう気で、うごけない。人などに、ふくや、食べものをくばる。活どうをする。日です。フローレンスも、お母さんといっしょに、いろいろな人の家を回ります。
「ふくを、もって、きました。どうぞ。」
「パンを、もって、きました。どうぞ。」
「けん、けん、くばって、歩きます。」
「わたしたちのように、体が、弱いものにとっては、とても、たすかります。」



第三章 自分を見つめて学ぶ

家族や家庭について考えよう

今の自分が存在するのは、親や祖父母について、その数々の大切な子供として生まれ、愛情をもって育てられたから、何か不安があっても、家族は、家族の安らぎの場所、家族がいる、とても安心できる、だから少しは泣いてもいい、また、母として、その大切な家族の誰かがいつもそばにいて、意味もなく涙が出たくなることもある、今、この大切な家族や家庭について、考えてみよう。

ふだん、あたりまえと思っている家族の存在。もう一度、家族とのかかわりについて考えてみよう！

■家族の一員として、あなたはどのような役割を果たしていけばいいのだろうか？

年 月 日

■家族からメッセージをもらおう！

年 月 日

第三章には、子供たちが日常生活や体験などを振り返り、自分自身を見つめ直すことのできる資料やワークシートを掲載しています。

道徳科で扱う内容について、先生や友達、家族の人と一緒に考えながら、子供たちが自分の考えを広げたり深めたりできるようになっています。

思いやりやきまりを守ること、生命の大切さなど、様々なことについて、一緒に考えたり話し合ったりしてみましょう。



家庭で話題にしてみませんか

子供たちは、それぞれの年齢や学年に応じて、悩んだり葛藤したりしながら生活しています。それと同時に、よりよい生き方をしたい、人としてもっと成長していきたいと願いながら、日々の生活を送っています。

人生の先輩である大人たちとのちょっとした会話も、子供たちの心に、いつか花開く種をまくことにつながるかもしれません。また、その会話の中で、子供たちが今どのような成長の段階にあるのかを、大人たちが理解することもできるかもしれません。

ぜひ、ご家庭で様々なことについて話し合う中で、子供たちが豊かな心を育ていけるよう、ご支援をお願いします。

「思いやり」ってなんだろう。
なぜ「思いやり」が必要なのだろう。

「きまり」はなんのためにあるのだろう。
なぜ「きまり」を守らないといけないのだろう。

なぜ命は大切なのだろう。
「命を大切にすること」ってどうすることだろう。

「自由」と「自分勝手」は何が違うのだろう。
「自由」ってなんだろう。

「大人」と「子供」の違いってなんだろう。
どこから「大人」で、どこまでが「子供」なんだろう。

「幸せ」ってなんだろう。
自分にとっての「幸せ」ってなんだろう。

これらの中には、大人たちも答えを見つけられていなかったり迷ったりしているものがあるはず。大人も悩んだり葛藤したりしながら生きているということ、子供たちに示してあげることも、大人の大切な役割です。大人と一緒に悩んだり考えたりする体験は、子供たちにとって大きな財産となるはずです。

道徳性＝豊かな心は、いつか完成するものではなく、人が一生をかけて育み続けていくものです。そのことをまず大人が自覚し、子供たちと向き合っていきましょう。